



岐阜大学リサーチ・アドミニストレーターについて

岐阜大学 研究推進・社会連携機構
リサーチ・アドミニストレーター 馬場 大輔、安部 恵祐

概要

岐阜大学URAは、研究者データベースの作成、各種研究資金の情報収集・発信、申請書作成支援、教員のアウトリーチ活動および安全保障輸出管理等のコンプライアンス管理を行っている。現在は、科研費採択増加に向け、研究者の採択状況を解析した上で獲得支援に重点的に取り組んでいる。本発表では岐阜大学URAの活動について紹介する。

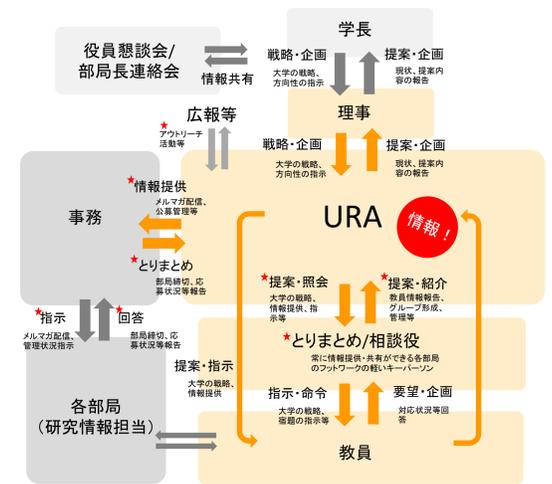
背景

岐阜大学の体制は？

平成24年8月 旧産学連携組織改編と同時にURAを配置。
岐阜大学URAは大学の独自予算で運営され、理事直下の組織として活動している。
現在は、特任准教授 1名 + 特任助教 2名。
全850名の教員に対してURA3名での対応のため、マンパワー不足である。

岐阜大学URAの目的は？

URAの目的は、大学運営（事務部）と教員（研究者など）のそれぞれの立場を理解し、橋渡しの作業（セミナーなど）を行うことで、**win-winの関係を構築し**、大学力の向上を目指すことである。



URA活動

研究支援活動

【プレアワード】

(外部資金情報)

- 情報収集を行い、発信は岐阜大学研究推進・社会連携機構HPにおいて、大学内部専用にて公開月150-200件程度掲載
- 10月からはメールマガジン配信を開始
- ホームページの変更
- 外部資金情報検索機能の向上



(申請書作成支援)

- 科研費、民間助成、共同研究、政府系公募
- ブラッシュアップ、コーディネーター、e-Rad申請支援
- 契約書作成、サポイン、事業管理機関としての支援
- 科研費支援本発刊
- 採択のコツを編集し、発刊
- 科研費研修会、ワークショップの開催
- URAが企画・チェア・ファシリテーターを担当



【ポストアワード】

(啓蒙・アウトリーチ活動)

- 安全保障輸出管理
- 研究者倫理に関するFD活動 (Faculty Development)
- 教員紹介・研究紹介冊子の作成
- 岐阜大学フェアの運営支援 (研究紹介)
- ランチタイムセミナー
- オープンスペース管理 (オープンラボ、インキュベーション施設、地域共同研究施設等)



CAUTION!

留学生を受け入れるとき、海外の研究者と関わる時、サンプルを提供するとき、海外出張をする時、手続きをしていますが？



(学内管理)

- 情報の共有
- 各学部事務が持っている公募情報などをURAが一元化し、管理
- 学内ネットワークの構築
- 役員・教員・事務の連携を調節し、情報の伝達経路を作成



現在進行中の案件

- 学内研究者・教員の研究領域・採択状況調査及び分析をし、研究者データベースを作成
- 新制度の提案：クラスアップ制度（基盤C採択経験者を新規基盤B採択へ） 前年度不採択A評価者への採択支援 研究者UNITの形成支援（大型予算獲得用）
- 従来の学内支援制度の見直し：学内活性化経費（インセンティブ経費）の上記クラスアップ支援用予算への転換
- 学内事前審査制度（科研費・民間助成・大型公募・ヒアリングに対応）
- 科研費・A-STEPなどの重要公募の説明会を、オムニバス形式（1回の開催で複数の説明会を連動）で年数回開催
- 科研費ワークショップへの若手・新任教員の参加促進
- e-learning を用いた各種研修会の配信・管理（閲覧者管理を含む）
- 大型研究費のポストアワード ○ 国際交流研究拠点化への支援（インド・東南アジアなど）